

バレーボール大会新型コロナウイルス感染対策ガイドライン

串間市バレーボール協会

本ガイドラインは大会を実施する上で、新型コロナウイルス感染拡大予防のための留意していただきたい内容です。

大会運営において遵守していただきますようお願いいたします。

大会実施における留意点

(1) 大会参加者への対応

- ・大会参加にあたっては地域の実状を考慮し大会参加すること。
- ・試合当日、参加者の体調等が記載された体調管理表（別紙HPダウンロード）を各チーム提出すること。
- ・登録選手以外の関係者は1チームあたり5名までとする。
※1日を通して5名ですので入れ替えはできません。
（子供も1名として数えます。）

※随行審判員が登録選手以外の場合は、5名の中にいれてください。

- ・参加者が以下の事項に該当する場合は参加を見合わせること。
- ・体調がよくない場合（発熱・風邪症状等）
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- ・感染拡大防止のための以下の措置をとること。
- ・全ての参加者はマスクを持参し、試合及び練習で競技を行っていない時はマスクを着用する。
- ・こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する。基本的に消毒液は各チームで用意すること。
- ・タオルや水筒等は個人で用意し、共用しない。
- ・試合中に大きな声で応援等をしない。
- ・大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、速やかに濃厚接触者の有無等を串間市バレーボール協会へ報告すること。

(2) 会場及び準備等の感染防止策

- ・会場への入退場の際は必ず手指消毒を実施すること。
- ・複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ・レバー等）はこまめに消毒を行う。
- ・待機する場所は広さにゆとりを持たせ、他の参加者と密になることを避けること。

- ・換気に配慮すること。
- ・会場での飲食は必要最低限にとどめ、待機場所以外で行わず、なるべく人との距離をとって体面を避け、会話は控えめにすること。

(3) 試合中の対策

- ・換気の悪い密閉空間とならないよう、十分換気を行う。
- ・施設・用具の消毒は試合前後の試合球、フラッグ、椅子の消毒を実施すること。※試合終了後、選手は自コート椅子を消毒し退場すること。フラッグ、ボールは協会が実施すること。
- ・試合開始、終了の握手及び試合後の相手監督への挨拶は実施しないこと。

(4) 選手待機場所及び観客席について

- ・観客を参加させる場合は、他の参加者と密にならないよう、椅子等の間隔を空けること。
- ・マスクを着用し、大声での応援は避けること。
- ・観客はセット間で応援場所を移動しないこと。
- ・選手待機場所は協会側で指定するため、基本的に試合以外は移動しないこと。
- ・関係者に関しても、基本的に選手待機場所で待機すること。

(5) 試合前後

- ・開始式は行わない。また、チームの代表者は第1試合開始前までにオーダーを提出すること。
- ・第1試合は受付終了後、練習(20分)を開始する。練習終了後プロトコールに入る。なお、各チーム第1試合目のみ20分間の練習を行う。
- ・試合間を十分にとり、換気等をしっかり行った上でチームの入れ替えを行う。試合終了したチームがフロアからいなくなった時点で次のチームがコートに入ること。
- ・試合が終了したチームは速やかにコート(フロア内)から退出し、密になるような場所でのミーティングは避けること。

(6) 競技中

- ・試合前後の挨拶は握手を控え、一礼にとどめる。
- ・試合前の円陣やベンチでの集合時できるだけ密集、接触を避ける。
- ・ネット越しでの大声での会話は行わないこと。
- ・審判の笛については電子ホイッスル可とする。